

つながりがはぐくむ豊かな暮らし ～誰一人取り残さず、共に創る未来へ～

令和5年度 長岡市市民協働推進審議会

令和6年3月1日（金曜日）午後1時30分～ アオーレ長岡301会議室

1. 市民活動のいま
2. 企業連携とSDGsの推進
3. 市民活動のこれから
4. 次期ビジョンの方向性

1-1 市民活動のいま

未来を創る市民活動応援補助金（未来共創補助金）

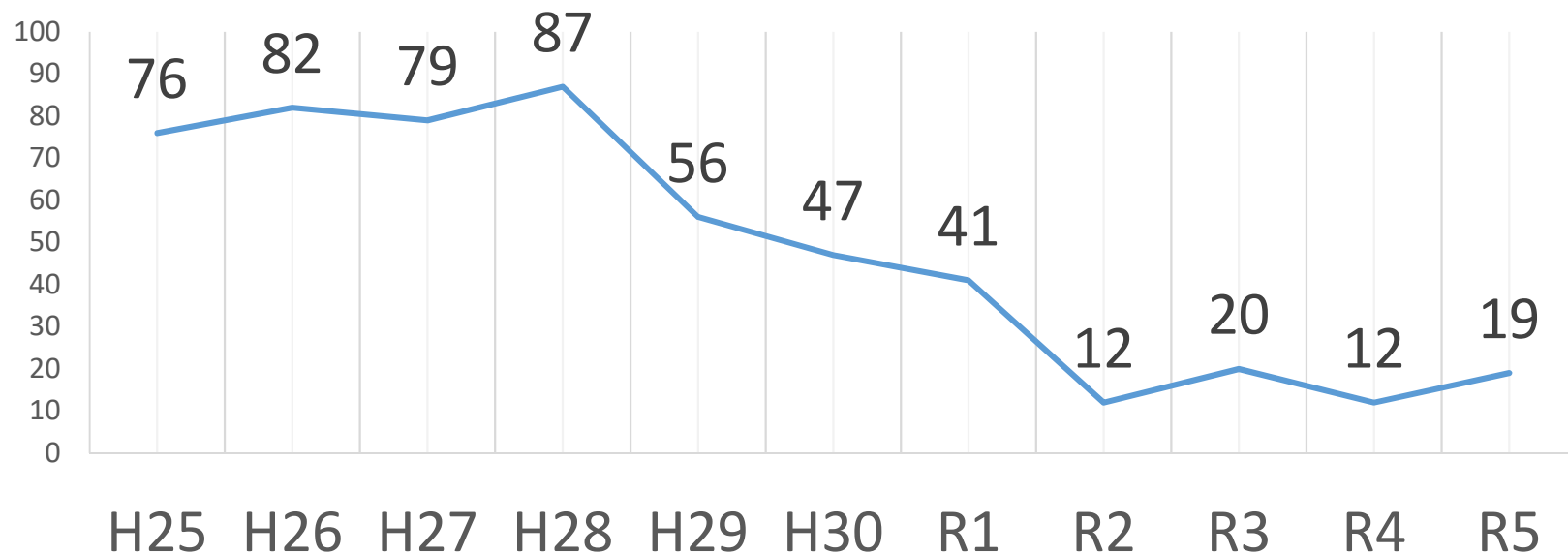
令和5年度は19事業を応援

事業名	
長岡地区池坊いけばなを楽しむ会の花展での「いけばな体験」	神谷創立百周年記念イベントの開催
「ヒゲの校長」上映会－長岡市手話サークル設立50周年記念－	アフターコロナ時代に向けて新たな広報手段の確立
アフリカンフェスタ！inながおか2023	省エネ・自然エネルギーを活用した地域循環型の町づくりを進めよう
本格的な茶室で気軽に茶道を楽しもう！	第1回ながおかサッカー×eスポーツフェスタ（仮称）
長岡ジャズキッズ リスタート	昆虫採集を考えるシンポジウム（仮称）の開催
悩みを抱える子どもと大人のつながりづくり	長岡の杜を考えるプロジェクト
大垣市青年のつどい協議会との交流事業	アートなHENTAI万博vol.002～地元クリエイターによる体験型作品展～
「石寒太先生の長岡親子俳句教室」	特定非営利活動法人ミュージックライフパートナー設立記念コンサート～陽気な女神達とその仲間が長岡市立劇場に集結！～
日本古来の香り香道に親しむ体験教室	先進地から学んで実践！「親あるあいだの準備」講演会～障がいのある子どもの豊かな人生のために～
トモニーながおかの活動普及・啓発事業	

1-2 市民活動のいま

未来共創補助金採択件数の推移

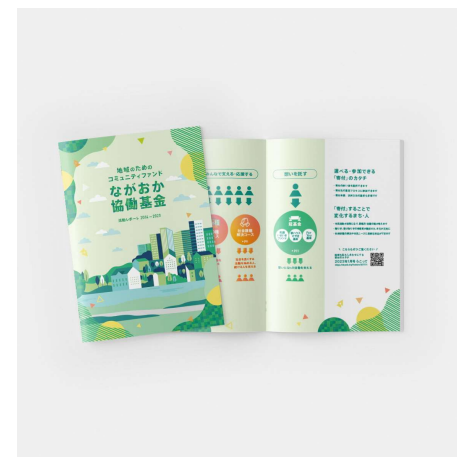
- イベント系の事業が増加（R4年度9→R5年度16）
- 採択19事業のうち9事業が交付決定額10万円以下の小規模事業



1 -追加 市民活動のいま

ながおか協働基金支援件数の推移

- NPO法人市民協働ネットワーク長岡のファンドレイジング事業。2014年に開始した「夢の種プロジェクト」を含む3つのコースで、長岡で活動する個人や団体を寄附を通じて応援する。
- **寄附総額**
約9,592,000円
- **夢の種応援コース（夢の種プロジェクト）**
支援件数37件 総額約1,300,000円
- **社会課題解決コース**：支援件数2件 総額200,000円
- **冠基金**：支援件数延べ19件 総額約2,806,220円



1-3 市民活動のいま

ながおか市民活動フェスタ

コロナ禍前と同規模の来場者
日 時：9月30日（土曜日）
参加団体：67団体
来場者：5,000人



やってみよう
み～んなの笑顔のために

ながおか市民活動
フェスタ
2023

9/30 土 10:00 ▶ 15:00
お菓子まきは10時からスタート!
会場/アオーレ長岡

過去最大! 71の市民活動団体が大集合!!
子どもから大人まで楽しめるみんなで作るまちの文化祭をお楽しみください!

ステージ発表
歌・ダンス・劇・楽器の
生演奏など美しい
プログラムが目白押し!

物品販売
フェスタならではの!
市民活動団体自慢の
逸品をどうぞ!

飲食販売
市民活動団体が作る
おいしいものがいっぱい!

活動体験・PR
個性あふれる
体験・映像上映・PRブースが
盛りだくさん!

市民活動フェスタ
実行委員会

ながおか市民協働センター
長岡市大字通1丁目4番地10 シティホールプラザアオーレ長岡 西棟3階
TEL: 0258-39-2020 FAX: 0258-39-2900

Webサイトコライ
Facebook
Instagram

1-4 市民活動のいま

市民協働センター相談件数と登録団体数の推移

登録団体数と相談件数_ながおか市民協働センター

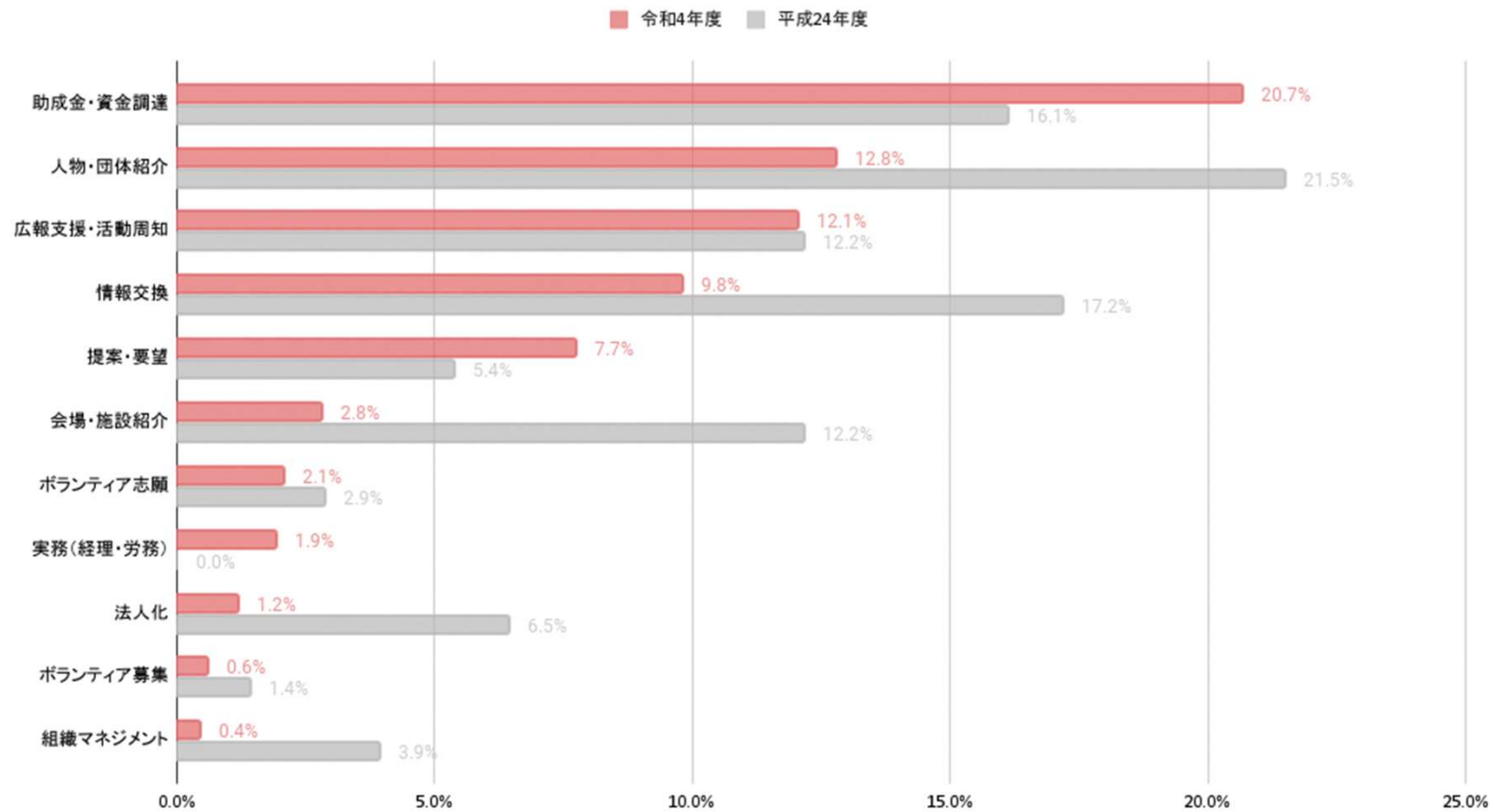


※令和5年度は、12月末までの値。活動状況が不明・連絡の取れない団体を整理して35件削除した。
※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症にまけない市民活動団体奨励金の相談件数1,162件を含む。

1-5 市民活動のいま

市民協働センター相談内容の内訳

相談内容の比較(割合)



市民協働条例制定時（平成24年度）と比較して、相談の質に変化が見られる

1-6 市民活動のいま

新型コロナウイルス5類移行による活動の変化

- 事業・企画相談が、前年比32件（24.8％）増加
- 講座を現地・オンラインのハイブリッド形式で毎月開催。アーカイブ配信により受講者数が増加



ながおか市民協働センター

学びの場

いよいよ始まった
インボイス制度を
知ろう

令和5年度 第8回 11/22 水 13:00 14:00

ハイブリッド開催
現地 LIVE



1-7 市民活動のいま

能登半島地震被災地への支援

- 市民活動団体が能登の被災地で支援活動
- 中越大震災から20年、自らの経験を活かした支援

**令和6年能登半島地震被災地支援
支援募金にご協力ください**

チーム中越では、令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災地を支援するために、輪島市や穴水町を中心に、避難所の運営支援や物資支援、トイレカーの設置支援など、被災者の皆さんに寄り添った支援活動を展開しています。
被災地の復興にはまだまだ時間を要することから、チーム中越が培ってきた知見を活かしつつ、これからも中長期での被災地支援活動を行っていく予定です。
被災地支援活動を行うための支援金への募金のご協力をよろしくお願いいたします。



いただいた募金につきましては被災地の復旧、復興活動支援に使用させていただきます。
募金の使途につきましてはFacebookページにてご報告いたします。
【チーム中越Facebookページ】 <https://www.facebook.com/teamchuetu>

募金口座への振り込み 以下の口座にて募金を受け付けています。 チーム中越（チーム中越） 【銀行名】ゆうちょ銀行【店名】一ノ八 【口座】119【預金種目】普通預金 【口座番号】12790036	寄付用サイトからの募金 クレジットカード、コンビニ決済、銀行振り込みに対応しています。 募金サイトURL https://team-chuetu.stores.jp QRコードから募金サイトにアクセスできます。
---	--

【問合せ】チーム中越 事務局 担当：野村・阿内
（公益社団法人・中越防災安全推進機構）
〒940-0062 新潟市大平通2-4フェニックス大平イースト2F
TEL 0258-39-5525 FAX0258-39-5526
E-mail team.chuetu1023@gmail.com

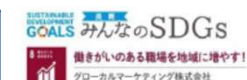


2-1 企業連携とSDGsの推進

広報誌（らこって）でSDGsに取り組む企業を毎月紹介

- 社員のSDGsに対する関心度が向上
- 自社の取組みがSDGsに繋がってるという気づきも

企業名	目標
公益財団法人長岡社	④質の高い教育をみんなに
三容株式会社	⑫つくる責任 つかう責任
有限会社吉澤藤兵衛	④質の高い教育をみんなに
株式会社バイオキューブ	⑫つくる責任 つかう責任
一般社団法人長岡市緑地協会	⑮陸の豊かさを守ろう
春風春水	②飢餓をゼロに
グローバルマーケティング株式会社	⑧働きがいも経済成長も
株式会社夢ガーデン	⑩人や国の不平等をなくそう
一般社団法人Hugme	⑤ジェンダー平等を実現しよう
株式会社アドテックエンジニアリング	⑧働きがいも経済成長も
日本精機株式会社	③すべての人に健康と福祉を
特定非営利活動法人緑うるおう栃尾を育む会	⑪住み続けられるまちづくりを



8月 働きがいのある職場を地域に増やす！
グローバルマーケティング株式会社

地域の中小企業や団体の海外売上アップを支援する会社です。近年、企業間競争の激化により国内・海外ともに経営が厳しくなりました。当社は社内改革を行い、制度の整備だけでなく、社員への研修、オンライン研修を補助するなど積極的なコミュニケーションを行うことにより、企業間の競争力を高め、地域に貢献しています。また、海外展開を支援し、働きがいのある職場を確立しています。



9月 自分を大切にすることで 相手も大切にできる
一般社団法人 Hugme

2023年3月に設立したHugmeはマザーズで活動しており、企業内社員のキャリアアップに関する研修やオンラインコミュニティの運営のほか、性別平等や児童労働の撲滅に関する啓発活動を行っています。また、企業間の競争力を高め、地域に貢献しています。また、海外展開を支援し、働きがいのある職場を確立しています。



10月 社員の健康が地域の活性化に
日本精機株式会社

自動車やバイクに搭載されているメーターの開発・設計・製造を行う会社です。社員の健康に配慮した社員健康管理プログラム（ヘルスマネジメント）やSDGsに関する研修やオンラインコミュニティの運営のほか、性別平等や児童労働の撲滅に関する啓発活動を行っています。また、企業間の競争力を高め、地域に貢献しています。また、海外展開を支援し、働きがいのある職場を確立しています。

2-2 企業連携とSDGsの推進

令和5年度に実現した企業とのマッチング

事例1 (株)アプトシステムズ×こども食堂

「社会貢献するように」との周囲の要望を機に、20~30万円分の食材を、こども食堂の参加者が増える夏休みに合わせて提供。

事例2 原商(株)×地域のわら細工名人

将来的に地域の高齢者等と一緒に作成できるよう、販売品のおまけにする「しめ縄」作りを学ぶため、地域の名人に依頼。

事例3 (有)小国和紙生産組合×NPO法人

学校向け事業のため、これまで声かけや自社で作成した約1,000個のコサージュの素材作りを、NPO法人ピュアは一とに委託。今後も継続。

マッチングリストをベースに相談対応を重ね、企業の意図をくみ取ってベストな団体を紹介

→企業と団体双方が満足できるマッチングが実現

2-3 企業連携とSDGsの推進

長岡青年会議所の取り組み

- 長岡青年会議所が「新たな市民協働」をテーマに「市民協働フォーラム～Meet Up想結び～」を開催。団体の活動紹介やトークセッション、マッチングタイム等で盛況。
- 秋には「市民協働のまち長岡」を紹介する動画を作成。YouTubeやInstagram、ナカドマの大型ビジョンで放映。



長岡は市民協働により復興、発展を繰り返してきた歴史があります



そして現在も、長岡には新たな市民協働が生まれ続けているのです



なのでまずは相手を理解することから始まると思います

2-4 企業連携とSDGsの推進

長岡商工会議所が会員企業に向けてアンケートを実施

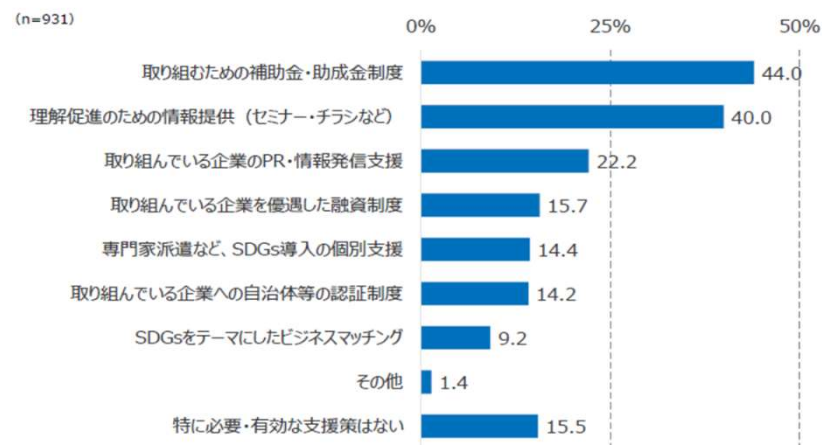
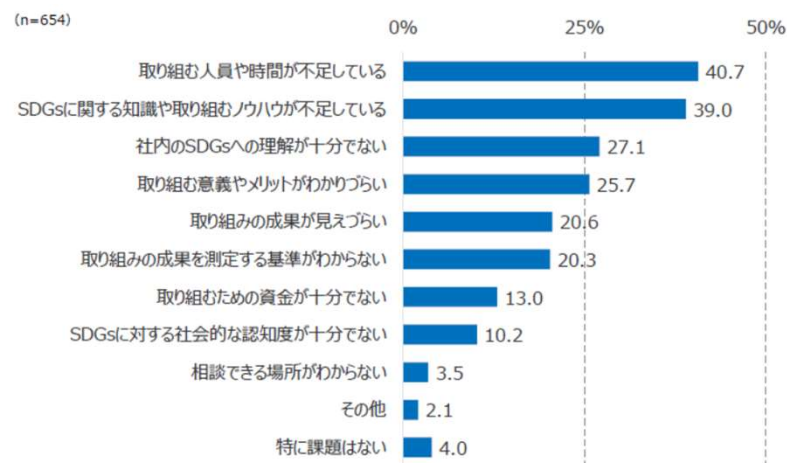
多くの企業がSDGsについて関心を寄せており、取り組みに意欲的である一方で、課題も明確に。

課題 人員や時間、知識とノウハウの不足

→市民活動団体とマッチングすることが解決の糸口となる可能性あり

求められる支援策 助成制度、情報提供

→市民協働センターがハブとなって、助成制度やSDGs関連の情報提供が可能



(参考) "令和5年度SDGsに関するアンケート調査報告".長岡商工会議所.2023 <https://www.nagaokacci.or.jp/topics/detail/c/1/cd/1484/>

2-5 企業連携とSDGsの推進

できることから着実に

- 取組 1** 3月7日に開催される長岡商工会議所主催のセミナーでマッチングリストを配布
- 取組 2** 企業に協働マッチングリストを送付
- 取組 3** 青年会議所やロータリークラブ、ライオンズクラブといった団体にもアプローチ

企業に市民活動を知ってもらうとともに、市民活動団体にとっても企業との距離を縮めるチャンス

3-1 市民活動のこれから

サードプレイス・社会的処方としてのアプローチ

- 高齢世代の増加、新型コロナウイルスの流行により、孤独・孤立が社会問題として問題視されている。
- 市民活動が、孤独を感じる人にとってのサードプレイスや社会的処方箋として機能することをPRしていく。



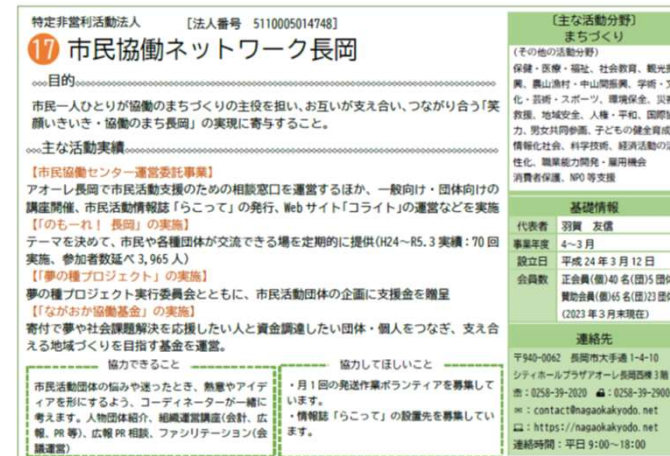
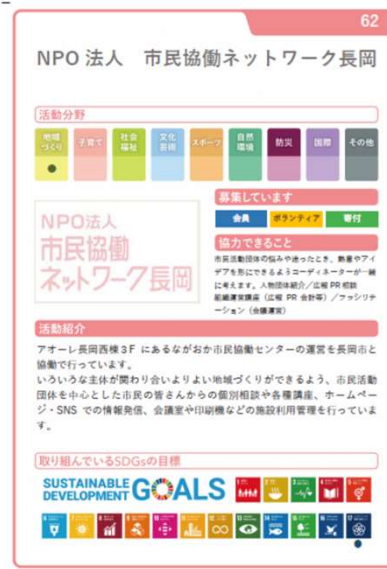
サードプレイス：自宅、学校や職場とは別に存在する居心地のいい場所。

社会的処方箋：地域活動や市民活動を薬に見立て、患者（孤独を感じる人）に地域との繋がりを処方する考え方。

3-2 市民活動のこれから

協働マッチングリストの活用

- 協働マッチングリストは200を超える団体の「協力できること」と「協力して欲しいこと」を掲載
- 令和6年度から、市内のNPO法人にも掲載を呼びかけ（これに伴いNPO法人ハンドブックは廃止）



3-3 市民活動のこれから

地域おこし協力隊の雇用

- 長岡市では現在16名の地域おこし協力隊が活躍中
- NPO法人市民協働ネットワーク長岡とNPO法人ながおか未来創造ネットワークに配置予定
- ヨソモノの視点を市民協働のカンフル剤に



スマホ相談所・開催を開催。多世代交流を通じたデジタルデ
バイト対策の企画・運営（地域振興戦略部所属 川堀隊員）



eスポーツを活用し、関係・交流人口の創出・拡大を推進。
（地域振興戦略部所属 内堀隊員）

3-4 市民活動のこれから

持続可能な活動のための資金計画

- **未来を創る市民活動応援補助金**

申請書や審査で「自己資金の比率」をチェック。補助金依存の活動とならないよう、事前相談の中でも収入や支出内容の精査を行う。

- **資金調達方法のノウハウ**

市民活動ノウハウ講座「学びの場」や、コラム「市民活動虎の巻」等で団体の資金繰りのノウハウを発信。また、会費や寄附金、クラウドファンディングの活用等幅広い資金調達方法の事例紹介を行う。

3-5 市民活動のこれから

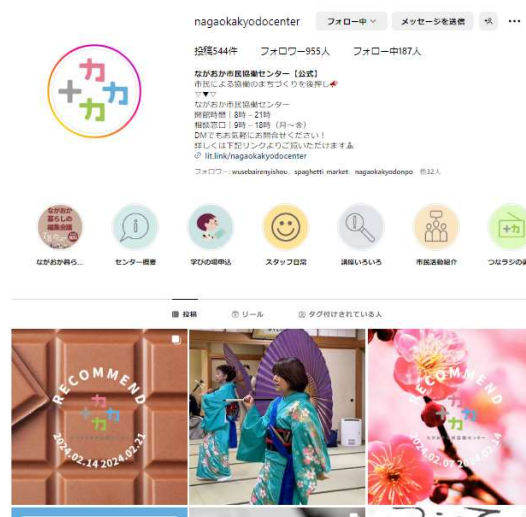
活動の下支えも継続してしっかりと

1. 相談対応

協働センタースタッフが丁寧に対応

2. 情報発信

コライト（ホームページ）や、らこって（広報誌）、SNSで幅広い層に情報を拡散



4-1 次期ビジョンについて

2020年のビジョン策定時の背景

- 2012年に市民協働条例を制定

長岡市市民協働条例 第3条（基本理念）

1. 市民と市は、協働のまちづくりを推進することにより、将来にわたり市民の更なる幸せな生活の実現を目指すものとする。
2. 市民と市は、それぞれがまちづくりの主役として、自発的に活動するものとする。
3. 市民と市は、それぞれの特性の違いを活かし、自助・共助・公助の理念にのっとり、相互に補完し合いながら、まちづくりを行うものとする。

- 2020年、条例制定から8年が経ち、社会情勢の変化や時流を捉えた中期計画を市民と共有するため、審議会でのビジョンを策定

- 現行のビジョンは2025年で見直し

4-2 次期ビジョンについて

2020年のビジョン策定時の意見

- ビジョンに掲載された図表やキーワードが、市民の活動とリンクしたり、ヒントになるように。
- 市民活動は社会課題のアンテナ。非営利である必要はなく、産業界とリンクしていくことに期待。
- 市民活動は市民だけでなく、経済活動とも切り離せない。企業とのマッチングを促して欲しい。
- 未来を担う若者への機会提供にも触れる。

4-3 次期ビジョンについて

2020年のビジョン策定時からの変化

① 新型コロナウイルス感染症の流行

- ・ オンライン化の加速
- ・ 活動の多様化、柔軟化

② 市民が主体となった社会課題への取り組み

- ・ 条例制定から10年超、理念は着実に定着
- ・ 市民活動団体同士のマッチング

③ 市民協働センターの定着

- ・ 相談窓口として市民に認知
- ・ 経験の蓄積による幅広い選択肢の提案

4-4 次期ビジョンについて

論点整理

- 「協働」の概念を市民や企業と共有するには
→フィットする新たなフレーズがあるか
- Sustainable（持続可能な）Development（開発）
Goals（目標）の位置付け
→引き続きコアな理念とするか
- 市民活動団体の声をどのように反映させるか
→アンケートを行ってはどうか

つながりがはぐくむ豊かなくらし
～誰一人取り残さず、共に創る未来へ～